PHOTO ふぉとるぽ REPO

友好の懸け橋

平成26年度　土庄町・津山市スポーツ少年団交流会

２月７日・８日、津山市スポーツ少年団と歴史友好都市である香川県土庄町のスポーツ少年団の指導者や団員が、スキーやレクリエーションを通じてお互いの友好を深める交流会が行われました。

初めはお互いに緊張もありましたが、恩原高原スキー場（鏡野町）でのスキー教室や鶴山公園でのポイントラリーなどのレクリエーションや名刺交換を行ううちに、笑顔も増えてきて次第に打ち解けているようでした。

あばの魅力を再発見

あば村宣言記念フォーラム

２月14日、阿波公民館（阿波）にて、持続可能な地域づくりを目指し、あば村宣言記念フォーラムが行われました。フォーラムでは、合併後のあば村運営協議会や市の取り組みについての報告や記念講演などが行われ、地元住民らが、自分たちの手で新しい村の形をつくるという決意「あば村宣言」を宣言しました。

午後からは、阿波で採れた農作物を使った料理の試食会が行われ、参加した住民らは、話に花を咲かせながら、地域の魅力を再発見していました。

地域の文化財を守ろう

津山市消防団重要文化財防火訓練

１月26日の文化財防火デーに合せ、１月25日、阿波八幡神社（阿波）で、重要文化財防火訓練が開催されました。

訓練は、市指定重要文化財である阿波八幡神社本殿と社叢（しゃそう）の付近で、焚（た）き木が原因で林野火災となり、神社の境内まで延焼拡大することを想定して行われました。

消防団員は真剣な面持ちで日頃の訓練の成果を発揮し、迅速に中継送水をするなど、放水訓練を行いました。

中国地域カーボンオフセット賞「最優秀賞」受賞

環境に優しい低炭素都市を目指して、平成26年12月から、津山ロールやつやま夢みのりの商品の一部をカーボンオフセット商品として販売する取り組みが、中国地域カーボンオフセット賞「最優秀賞」を受賞しました。

２月19日に行われた、受賞式に参加した**多胡幸郎さん（楢）**は「津山産の商品を使った低炭素都市への取り組みが評価され、光栄です。これからも地域活性化を目指して、継続していきたいです」と話してくれました。

カーボンオフセット商品についているロゴマーク

皆さんもカーボンオフセットの取り組みに参加して地球温暖化対策について、考えましょう。

「生きる」をいろいろな形で表現

津山市文化協会文化展「生きる」

１月24日～26日にアルネ・津山（新魚町）で開催された津山市文化協会文化展。「生きる」をテーマに、会員の作品展示やワークショップなどが行われました。会場では文芸・美術・華道などの作品に見入る人の姿も多く見られました。篠笛づくりの体験教室に参加した**遠山輝築さん（弥生小６年生）**は「竹に穴を開けるのが、なかなかうまくいかなくて難しかった。できた笛を吹いて音を出すのにもコツがいると分かって楽しかった」と話してくれました。

図書館を満喫

第14回図書館まつり

１月24日・25日に行われた図書館まつり。絵本の読み聞かせ、図書館玄関前のディスプレイづくりや健康セミナー、ビブリオバトル、高専ロボコンのロボットの体験など、さまざまな行事が行われました。ディスプレイづくりに参加した**二宗心音さん（真庭市）**は「形にあわせて布を切って貼るのが難しかった。作ったものを飾るのが楽しみ」と話してくれました。完成後、図書館入口に掲示されたディスプレイを嬉（うれ）しそうに眺めていました。

「ねずみくんのチョッキ」作者・なかえよしをさんによる絵本のおはなし会

グリーンヒルズ津山リージョンセンター（大田）

１月31日、絵本『ねずみくんのチョッキ』の作者・なかえよしをさんによる読み聞かせ会が行われました。スクリーンに次々と映し出される動物の絵に、子どもたちは喜んでいる様子でした。娘と一緒に参加した**藤野幸子さん（東一宮）**は「読み聞かせの良さが伝わってきました。娘と一緒に絵本を読む時間を大切にしたいです」と語ってくれました。

勝北陶芸の里工房　陶芸入門講座

勝北陶芸の里工房（杉宮）

２月13日、陶芸初心者を対象にした講座が始まりました。初日の電動ろくろコースでは、ろくろの中心に土を据える芯出しという工程に取り組み、細やかな手の動きや力の入れ方などを学びました。参加者は「形を整えていく工程は、なんだか、子どもを育てているような感覚になりますね。頑張って良い作品を作りたいです」と笑顔で話してくれました。

地場産野菜を使った給食大好き

高野小学校　給食試食会

全国学校給食週間中の１月28日、高野小学校で学校給食への理解と関心を深めるため、市長や野菜生産者などを招いた給食試食会が行われました。児童たちは、友好交流都市である諫早市の郷土料理で地場産食材を使ったぬっぺ汁などを元気いっぱいに食べていました。試食会に参加した野菜生産者の**光井辰雄さん（高野本郷）**は「子どもたちが食べるので、大事な仕事をしているという意識を持ち、食の安全・安心に気をつけて野菜を生産しています」と話してくれました。